

## 岐阜大学技術報告に寄せて

人材開発部長

上 田 浩 司

技術職員の皆様方には、本学の教育・研究支援のために、専門的な知識・技術に基づく技術開発及び技術業務並びに学生の技術指導等にご尽力いただきありがとうございます。

皆様ご存じの通り、2020年4月東海国立大学機構が設立されます。少子高齢化等社会構造の変化等に対応するため、名古屋大学と岐阜大学がそれぞれの自律性を尊重しつつ、機構設立のメリット（①戦略・リソースの共有、②経営の効率化、③研究力や教育力の強化・国際化や産学連携における協力による機能強化）を活かすことを目指しています。

機構設立に伴い技術職員の皆様についても、全学技術センターが組織されます。このことにより大学教員・研究者の要望への対応、同一技術系内での組織的な技術継承が可能となると考えています。

これまでも技術職員の方々については、教育に携わる者への手当の新設や経験等を活かしたキャリアパスの複線化など、様々な処遇改善を行ってまいりましたが、近年、技術職員の人数は減少してきております。この全学技術センターの組織により、広い分野又は分野を超えた連携をすることが可能となり、皆様がこれまでそれぞれの専門分野で培ってきた経験や技術を活かした技術職員の活躍の場が増え、ますます重要なポストになっていくと思われます。

さて、この技術報告会は、SDの一環並びに技術職員の皆様の活動発信の場として開催され、今年度で21回目を迎えました。残念ながら新型コロナウイルス感染症防止対策のために報告書による開催となってしまいましたが、今後は名古屋大学との連携を強化しながら、さらに有意義な会となっていくと期待しております。引き続き技術職員の皆様方には、専門的知識及び技術等を修得し、技術職員としての資質の向上を図っていただくとともに、本学の教育研究の活性化の為に一層ご尽力をいただけますようお願いいたします。